

平成29年度第1回渋川市子ども・子育て会議 会議録（概要）

会議名称	平成29年度第1回渋川市子ども・子育て会議
開催日時	平成29年10月25日（水）午後4時～5時
開催場所	渋川市役所 第二庁舎 201会議室
出席者 ◎会長 ○副会長	<p>【出席】 ◎斎藤(周)委員、○前田委員、小林委員、星野委員、齋藤(順)委員、鈴木委員、千木良委員、狩野委員、佐藤委員、地引委員、三橋委員、佐藤(晃)委員、宮崎委員、内田委員、大島委員、山田委員、室橋委員、野村委員</p> <p>【欠席】 伊藤委員、塚越委員</p>
事務局	渋川市長、諸田保健福祉部長、橋爪こども課長、小林子育て支援センター所長、千明子育て支援係長、永井保育幼稚園係長、荒木少子化対策係長、後藤主査、中村主任、狩野主事
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・渋川市子ども・子育て支援事業計画 ・子育て支援総合センターパンフレット
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 渋川市長 3 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会長・副会長の選出について (2) 渋川市子ども・子育て会議について (3) 渋川市子ども・子育て支援事業計画の概要について (4) その他 4 そ の 他 5 閉 会

発言者	議事の経過及び発言の要旨
保健福祉部長	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 会長</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 会長及び副会長の選出 (会長が選出されるまでの間、保健福祉部長が議事進行) (渋川市子ども・子育て会議設置要綱第5条第1項の規定に基づき、委員互選により斎藤周委員を会長、前田由美子委員を副会長に選任) (会長、副会長より就任あいさつ)</p>
会長	<p>(2) 渋川市子ども・子育て会議について</p> <p>(3) 渋川市子ども・子育て支援事業計画の概要について</p>
事務局	<p>「渋川市子ども・子育て会議」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年8月、子ども・子育て関連3法が制定された。 ・平成27年4月、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的提供、保育の量的拡大・確保、地域の子ども・子育て支援の充実などを趣旨とした、「子ども・子育て支援新制度」を施行された。 ・これを受け、渋川市においても、新制度の実施に向け、「渋川市子ども・子育て会議条例」平成25年6月21日制定した。 ・子ども・子育ての所掌事項は、市条例第2条となり、子ども・子育て支援法第77条第1項各号の事務（子ども・子育て支援事業計画に関すること、子ども・子育て支援施策の総合的推進、実施状況の調査審議等）及び、市長が必要と認める事項。 ・委員の任期は2年 ・今年度は、2月中～下旬に第2回目の会議を開催する。 <p>「渋川市子ども・子育て支援事業計画」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年3月策定 ・子どもの視点、親の視点、地域の視点を基本とし策定された。 ・策定にあたっては、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指すとの考えを基本に、制度、財源を一元化して新しい仕組みを構築し、子どもの幼児期の教育、保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭に置ける養育等を総合的に推進していくことが目標とされている。 ・子ども・子育て支援事業計画は、平成27年から31年度の5カ年計画で、今年度は、3年目の中間年となり、来年は次年度計画に向けた検証を行い、再来年に32年度からの、第二次計画を策定予定している。 ・計画においては、子ども・子育てを取り巻く状況から、施策体系、具体的な施策・事業の展開、数値目標・確保方策、計画推進で構成されている。 ・具体的な施策・事業展開においては、渋川市において展開されている事業について計画に記されている。平成28年度においては、子育

	<p>て支援総合センターが整備され本年度4月1日にオープンしました。 (別添資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、この会議において、計画の進行状況の管理を行う。
会長	(事務局説明について、委員の質問について問う。)
委員	任期は、なぜ10月からなのか。
事務局	<p>渋川市子ども・子育て会議条例が、平成25年6月に施行され最初の会議がこの時期に開催されたため、任期が年度途中からとなっている。</p>
委員	会議で議事として扱われる案件はどのようなものがあるか。
事務局	<p>今年度は2月中～下旬に開催し、その中では、計画の進行状況の確認を予定している。なお、資料については事前の送付し目を通していただきたい。</p>
委員	子育て支援総合センターの利用状況について。
事務局	<p>(こども課長より子育て支援総合センター全般の説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援総合センターの利用人数は、毎月、3,500人程度の利用者がある。 ・子育て支援総合センターには子育てコンシェルジュ(子育て総合案内職員)が配置されている。相談は月70～80件ある。
委員	パース大学福祉専門学校との連携は。
会長	連携については、小林委員にお願いしたい。
委員	<p>(小林委員より説明)</p> <p>同敷地内に子育て支援総合センターがあることで、実習のような授業ができる。生徒が作成した工作などの展示や子どもたちに提供したりできている。また、花壇なども、子育て支援センターと連携できている。</p> <p>今後は、更に市と連携し、講習会などの実施を検討している。</p>
事務局	<p>(4) その他</p> <p>6 その他</p> <p>次回会議については、2月中～下旬に開催する。また、本日の委員報酬については、後日、指定の口座に振り込みをする。</p> <p>7 閉会</p>